

勝部市長の

お仕事百景

シリーズで勝部市長の仕事を紹介しします



1/28 市社会福祉協議会での講演

市社会福祉協議会職員互助会から依頼を受け、「世界を覗く眼で一関を拓く」と題して講演しました。複数の事業を関連づけて情報発信することの効果や国際リニアコライダー（ILC）の最新情勢など、一関を取り巻く環境について情報共有できればとの思いでお話しさせていただきました。



2/10 希望郷いわて国体・いわて大会市実行委員会解散総会

国体の市実行委の解散総会が開かれました。平成19年の県議会本会議で知事が国体の本県開催誘致を表明しましたが、その原稿を書いたのが、当時県総合政策室長だった私。大きな災害を乗り越えての開催は感慨深く、運営に関わった皆さんに感謝を込めてあいさつしました。



1 第3次一関市交通安全計画を策定しました

市は、交通事故のない社会を目指して「第3次一関市交通安全計画」を策定しました。本計画は、市の交通安全に関する施策を推進するための指針です。計画期間は、28年度から32年度までの5年間です。

計画の詳細は、市ホームページに掲載します。また、本庁、各支所や各市民センターにも備え付けます。

■計画の内容

次の目標や施策によって取り組みを進めます。

①道路の安全について

◇目標…32年までに年間の死者数を3人以下、交通事故発生件数を190件以下、死傷者数を240人以下にする

◇施策…▶道路環境の整備▶交通安全教育の推進▶安全運転の確保▶車両の安全性の確保▶道路交通秩序の維持▶救急・救助活動の充実▶被害者支援の推進

②踏切における交通の安全について

◇目標…踏切事故の件数ゼロを継続

◇施策…引き続き効果的な対策を講じるよう関係機関へ働きかける

☎本庁生活環境課 ☎ 8342

2 経 済 対 策 部 臨時福祉給付金を支給します

消費税率の引き上げによる影響を緩和するため、給付金を支給します。対象になる可能性がある世帯に、申請書を郵送します。受け付けを開始する3月は、窓口や駐車場が混み合います。注意してください。

◇対象者…28年1月1日に本市に住民票があり、28年度市民税（均等割）が非課税の人 *住民税課税者に扶養されている人や生活保護受給者は除く

◇支給額…対象者1人当たり1万5千円（1回限り）

◇申し込み…3月16日⑩～7月31日⑩に郵送するか、本庁1階特設窓口または各支所保健福祉課へ提出 *窓口での受け付けは④⑤⑥などの閉庁日を除く

☎本庁長寿社会課 ☎ 8357 または各支所保健福祉課

3 3月11日は「となりきんじょ防災会議の日」です

市は、東日本大震災が発生した3月11日を「となりきんじょ防災会議の日」に制定し、市民の防災力向上を目指しています。

東日本大震災を思い出し、家族、地域や職場などで防災について話し合い、災害への備えを確認しましょう。確認には、市消防本部ホームページ「生活安全情報」内の「わが家の防災力チェックノート」を活用してください。

☎消防本部防災課 ☎ 5913

放射線に関する Q&A

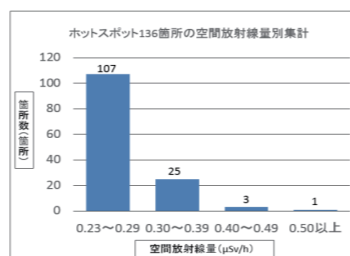
☎本庁放射線対策室 ☎ 8331

Q. ホットスポットの再測定の結果はどうだったの？

A. 市内のホットスポットは、25年度の測定で、6,137カ所でした。28年12月の時点では、除染や再測定の結果により、136カ所まで減少しています。136カ所の空間放射線量の平均は0.27マイクロシーベルト（ $\mu\text{Sv/h}$ ）。

最小は0.23 $\mu\text{Sv/h}$ 、最大は0.51 $\mu\text{Sv/h}$ でした。ホットスポットの約8割は0.23～0.29 $\mu\text{Sv/h}$ に抑えられています。

今後も、除染作業の現地指導などを行いながら、放射線量の低減対策に取り組んでいきます。



INFORMATION

29年度地域おこし事業を募集します

☎本庁まちづくり推進課 ☎ 8671 または各支所地域振興課

活力ある地域をつくるために、先導的な事業に自主的に取り組む地域や民間団体を募集します。3月17日⑩～31日⑩に相談に応じます。

◇対象…中学生以上の市民で構成する団体

◇申し込み…4月3日⑩～7日⑩

春季全国火災予防運動を実施します

☎市消防本部予防課 ☎ 5911 または各消防署・分署

3月1日⑩～7日⑩に春季火災予防運動を全国一斉に行います。スローガンは「消しましょう その火その時 その場所で」。期間中、各消防署・分署では「消防相談窓口」を開設します。

たき火や枯れ草焼きをする場合は▶消火の準備をする▶周囲の状況を確認する▶絶対にその場を離れない▶風が強いときや空気が乾燥しているときは行わない▶少量に分けて行う▶たばこの吸い殻は投げ捨てない▶火遊びはしないことなどに注意して火事を防ぎましょう。

広告入り封筒の無償提供者を募集します【広告入り事務用封筒】

☎本庁財政課 ☎ 8233

◇対象規格…①角形2号②長形3号③窓付きの事務用封筒

◇最低申込枚数…①4万枚②9万枚③7万枚

【広告入り窓口封筒】

☎本庁市民課 ☎ 8310

◇規格…①A5型②A4型の封筒

◇最低申込枚数…①2万枚②3万5千枚

《共通事項》

◇使用期間…29年8月1日～30年7月31日

◇申し込み…3月1日⑩～31日⑩にそれぞれの担当課へ

FMあすも専用ラジオは「貸与品」です 転出するときは返却してください

☎本庁総務課 ☎ 8633

緊急時の的確な情報と地域の身近な情報をお知らせするため、市は「FMあすも専用ラジオ」を全世帯・全事業所に貸し出しています。引っ越しなどで市外に転出する場合は、本庁または最寄りの支所に返却してください。

(一財)自治総合センターコミュニティ助成事業を活用 まちづくりをより活発に



宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施しているコミュニティ助成事業。28年度は助成金を活用して、自主防災活動や地域の行事で使用する備品などを整備しました。

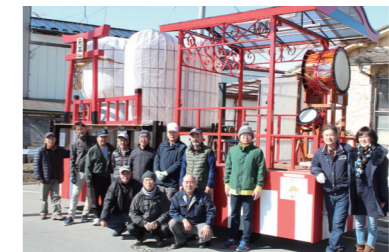
AEDや担架などの器材を整備 大東・市ノ通自治会自主防災会



大東町の市ノ通自治会自主防災会は集落会館に自動体外式除細動器（AED）、担架やメガホンなどを整備しました。

及川公夫会長は「地域住民の安全・安心を確保するための器材を整備できた。今後も、防災意識の向上を図っていききたい」と話していました。

山車台車と太鼓を新調 千厩・第2-2区自治会



千厩町の第2-2区自治会は、地域のシンボルである夫婦石をモチーフにした山車台車と、大小一對の夫婦太鼓を新調しました。

伊藤勇一会長は「老朽化していた山車台車をようやく新調できた。千厩夏まつりだけでなく、さまざまな行事で活用していきたい」と話していました。

白丁衣装や神官袴などを一新 東山・磐井清水若水送り実行委員会



東山町の磐井清水若水送り実行委員会は「磐井清水若水送り」に使用する白丁衣装や神官袴などの装束を一新しました。

安東正利会長は「平泉の世界遺産登録で、遠方や若者の参加が増えた。装束も新しくできた。若い人たちに伝統を受け継いでほしい」と願っていました。

防火広報のための機材を配備 藤沢・藤沢町婦人消防協力隊



市消防本部は、電子黒板機能があるプロジェクターやノートパソコンなど、防火広報用の機材を藤沢町婦人消防協力隊（千葉とき子隊長、隊員230人）に配備しました。早速、普通救命講習で活用しています。今後も防火防災の研修や啓発活動を行っていきます。